

地質学と農業：巻頭言にかえて

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2011-08-30 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 加藤, 芳朗 メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.14945/00006049

—— 巻頭言にかえて ——

わたくしは農学部で「農林地質」を講じている関係上、標記のようなことが頭から離れない。農業（広義）は作物・樹木をいかに効率的に栽培し利用するかを主目的とする。作物・樹木は大地の表層、土壌を母胎として生育し、土塊は母岩（母材）・地形によってその性質が制約される。つまり、農業と地質学とは土壌を仲介として結び付いている。両者の間には未開拓の分野が非常に多い。まず、土壌と地質とに関連するものとして、

1. 風化作用。
2. 表層地質、特に沖積地、火山山麓の表層部の微層序・堆積状態。
3. 農業立地の地質・地形的区分。
4. 古土壌。
5. 土壌水分状態と地形・地質との関係。
6. 肥料原料・客土資材 等。

また、農業土木、砂防工学上の問題として。

7. 農業水利。
8. 水利ダムの基礎地盤。
9. 地這り・山崩れなどの地質的素因。
10. 土砂の流出機構と堆積論 等。

そのほか、特殊作物と地質との関係など。

これらを一つ一つ解説する余裕がない。しかし、土木地質学とか水利地質学とかと並んで、もし、農林地質学という言葉が許されるとすれば、その内容は当然、上記のような事項になるであろうし、その体系は農業立地的見地に立って、地質・土壌・栽培管理・農業経営等の相互関係を統一的に把握する点に中心が置かれるであろう。

12月中旬、本冬2回目の木枯らしを聞きつつ。

加藤芳朗